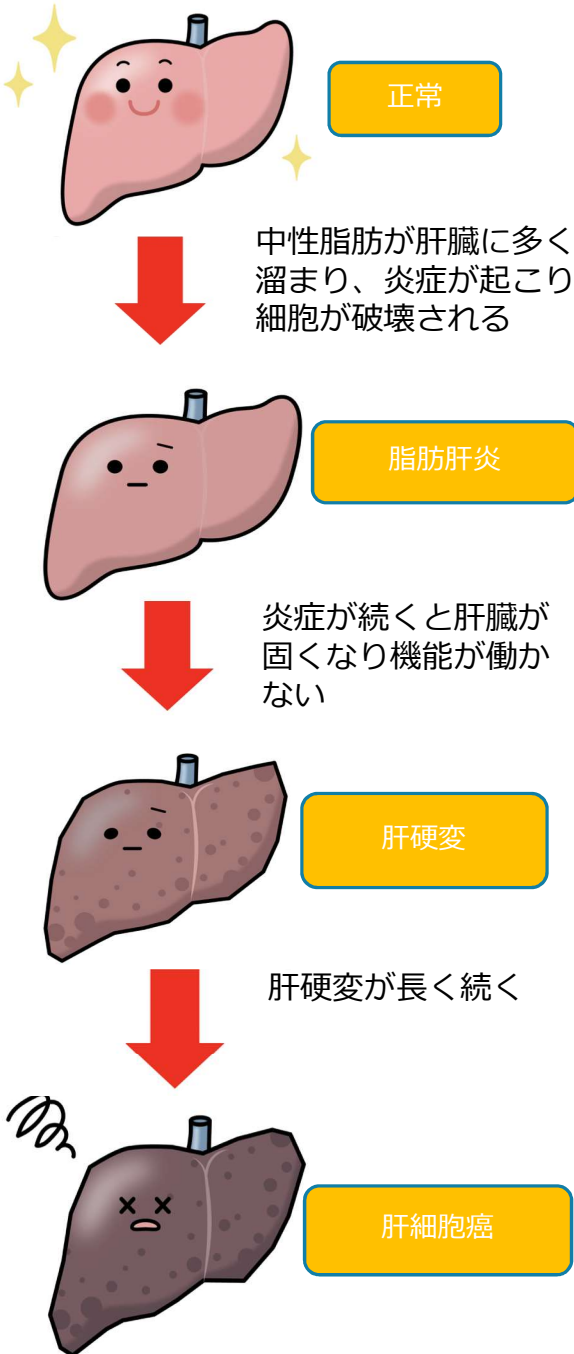


肝臓に関わる血液検査

AST (GOT) ・ ALT (GPT) ・ γ -GTP

肝臓は自覚症状が無いまま、肝硬変・肝細胞がんへと進行していきます。そこで血液検査の出番です。



AST・ALTとは？

「今」肝臓がどの程度炎症を起こしているかの指標の一つです。肝臓に何らかのダメージが加わって細胞が破壊されると血液中のAST・ALT濃度が上昇します。

γ -GTPとは？

アルコールに敏感に反応するため普段から飲酒が多い人は数値が上昇しやすいです。(健康な人なら一定期間の禁酒で低下します)
薬の服用でも肝臓がダメージを受けると数値は上昇します。

最近の脂肪肝

非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD: ナップルディー) の患者が増加しています。

これは飲酒歴が無い、または少量しか飲酒しない人の脂肪肝です。

原因は食べ過ぎ・運動不足・加齢による基礎代謝の低下などで、食事からとったカロリーを消費しきれないからです。

これを放置すると非アルコール性脂肪性肝疾患 (NASH: ナッシュ) という状態になります。

NASHは進行が速く患者の3~4割が肝硬変に進行して最終的に肝不全や肝細胞がんになる可能性が高まっていきます。

上記の症状が気になる方は健康診断を受診してみたいはいかがでしょうか。

